

梅小路京都西駅エリアにおける

「クリエイティブタウン」化の推進に関する連携協定締結について

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、株式会社めい、株式会社 51ActionR&D、株式会社 Monozukuri Ventures Holdings、一般社団法人京都試作ネット、株式会社ビバ、京都青果合同株式会社、株式会社野田屋、有限会社浅見水産、本政和好、DMG 森精機株式会社、京都リサーチパーク株式会社、京都信用金庫および株式会社地域経済活性化支援機構との14者（以下、「本協定当事者」という）で、2020年12月23日、梅小路京都西駅エリアにおける「クリエイティブタウン」化の推進に関する連携協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。

当金庫は今後も各種連携を通じて、地域の活性化と地方創生の支援に努めてまいります。



【本協定締結の目的】

本連携協定は、本協定当事者が連携して梅小路京都西駅エリア（以下、「当エリアという」）の「クリエイティブタウン※」化を推進し、京都のものづくり産業や食産業、観光産業が抱える課題と向き合い、京都の未来を切り開いていくために協力することを目的としています。

※「クリエイティブタウン」とは・・・

「ものづくり、先端技術、アートやデザイン、食文化を含む京都の伝統文化、観光業、グローバルな知見等を掛け合わせ、イノベーションを誘発し、グローバルに通用するものづくり産業を育成し、アートと京都の食文化を醸成し、またそれらの活動に関心を持つ方々、参画する方々を世界から誘引し、『参画型来訪』という新しい観光資源と観光スタイルとを創造する街」をいいます。

【連携・協力事項】

本協定当事者は、前掲の目的を達成するため、相互に定期的な情報・意見交換を行い、次に掲げる事項の実施を推進し、又は連携して協力します。

- (1) それぞれの経営資源を活かし、ものづくりの試作や少量生産の環境、ベンチャー企業向けのオフィス、アーティストやアスリートの活動拠点、意欲ある若者が集うコワーキングスペースやコミュニティサロン、京都の食の発信拠点、観光客・訪問客との交流拠点、それらを担う人材育成制度などの整備を図る
- (2) 「観光遺産産業化投資事業有限責任組合」を活用し、「クリエイティブタウン」の推進に資する事業に積極的に取り組む事業者に対する投融資の判断・実行等の検討を行い、当エリアの地域経済の成長発展に貢献する
- (3) 前二号を推進するため、本協定当事者および関係各所が参画する協議体として「梅小路コモンズ」を、また事業体として「株式会社梅小路まちづくりラボ」を設立し、運営する

以上

記載の内容は 2020 年 12 月 23 日現在です